

働く女性の健康課題



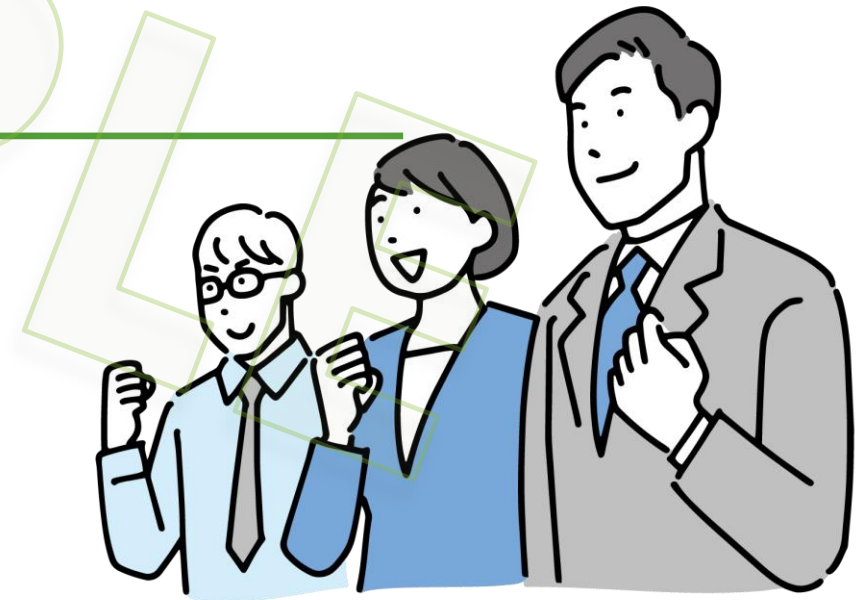
株式会社ドクタートラスト

本日のセミナーの目的

1. なぜ性差を理解した職場環境づくりが必要か理解する
2. 男女ともに働きやすい職場づくりに役立つ知識とスキルを身に着ける
3. 性差を理解したコミュニケーションにより職場の活性化ができる

本日の目次

1. なぜ、いま「女性の健康」？
2. はたらく女性のライフステージと健康
3. 職場で必要なコミュニケーション



組織として成長していくためには「知る事」

知らない→できない・怖い



知っている→仕事上
どう配慮すべきかわかる



知らないから怖いを無くし、円滑なコミュニケーションを目指そう！

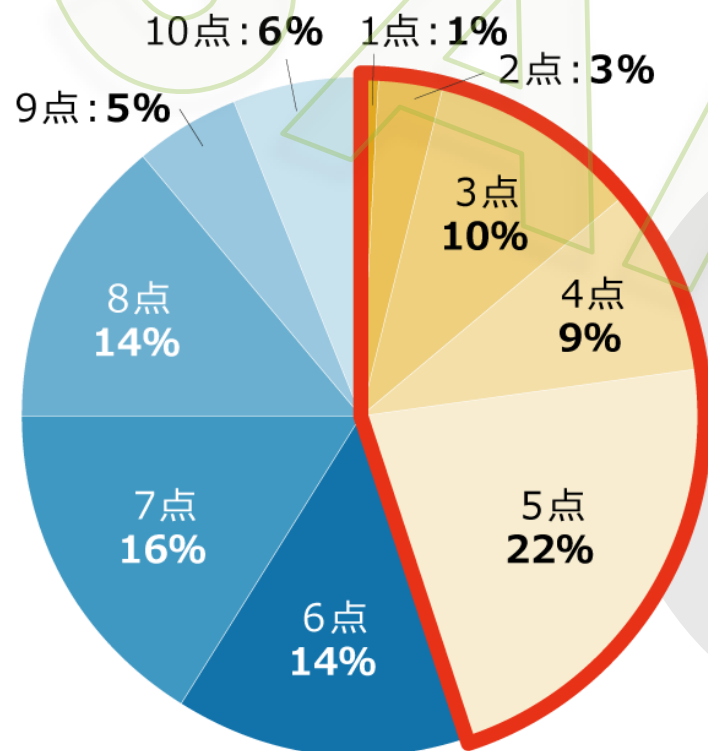
各年代で起こる健康障害



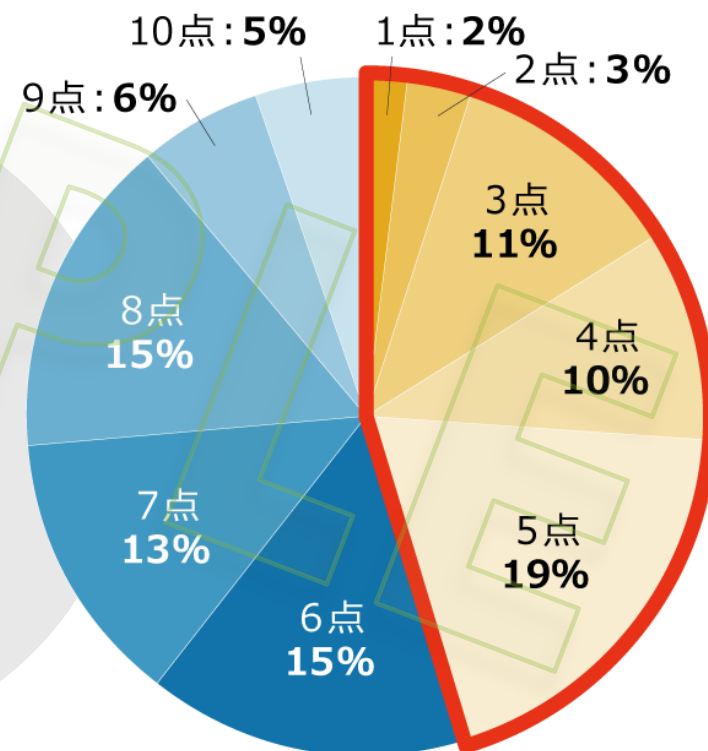
女性特有の症状下でのパフォーマンスは？

仕事のパフォーマンスが半分以下になる人が約半数

PMS（月経前症候群）や月経随伴症状



更年期症状や更年期障害



元気な状態の
仕事の出来を
10点とした場合

出典：“働く女性の健康増進に関する調査2018”. 日本医療政策機構. 2018-03-2. <https://hgpi.org/research/809.html>

乳がん検診

女性のがん発症数 第**1**位

40代乳がん発症の割合 **9**人に**1**人

マンモグラフィ検査

- 乳房専用のレントゲン
- しこりを作らない「石灰化」したがんを見つけることもできる
- 高濃度乳腺だと見えにくいこともある
- 40歳～74歳では25%の死亡率軽減が認められた

超音波（エコー）検査

- 乳腺の濃度に影響を受けない
- 小さなしこりや、しこりの性質を見られる
- 放射線被ばくがないので、妊娠中もOK
- 死亡率減少効果を評価した研究は現在のところ認められない

周囲ができるサポート～お互い様の精神～

体調面や仕事面での変化 に目をくばり、声をかける

顔色が悪い、苦しそう、いつもよりミスが多いなど普段と違う様子はないか目をくばり、声かけや業務量の調整、場合によってはその場で受診を促す

継続治療の必要性を 理解しサポートする

女性の疾患は継続した治療や検査を要し、病院が混雑しやすいことが特徴
それを理解し、仕事の協力や引継ぎを快く受け入れ、みんなでサポートする

- ・ 体調や病状は人それぞれのため、どんなサポートが必要かを本人と話し合う
- ・ 体調や治療スケジュールに合わせて業務量・業務内容が調整できるよう手助けをする
- ・ 急な欠勤、長期の休業となったときに備えて普段から仕事を共有・引継ぎしておく
- ・ 必要であれば管理職者からチーム全体へ協力を依頼する（プライバシーへの配慮が必要）
- ・ 負い目を感じさせないよう「お互い様だよ」「あなたを必要としているよ」と伝える



サポートだけでなく働きがいも！

働きやすさ

働きがい

サポートが不足

本人の体調や状況に反して
必要な制度やサポートが足りなければ
仕事との両立が困難になってしまう

退職へ…

サポートが過剰

本人の状況や意向に反して
簡単な仕事しか与えなければ、
働きがい・やる気を奪う

モチベーション低下へ……

同じ病気や悩みを持つ女性でも**状況や意向はさまざま**

緊密なコミュニケーションにより、一律対応ではなく**個別対応**を

